

## 新潟市人権教育・啓発推進委員会 第2回委員会 会議概要

開催日時	平成30年8月30日（木） 午後3時00分～午後6時27分	
会場	新潟市議会第4委員会室（新潟市役所本館6階）	
出席者	委員	赤塚委員、伊原委員、太田委員、川崎委員、齊藤委員、高橋委員、田巻委員、室橋委員、横尾委員 計9名
	事務局	広聴相談課長、同 課長補佐、同 市民相談室主幹、同 主査 計4名
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
報道記者	なし	
議事内容	<p>1. 開 会</p> <p>2. 挨拶 広聴相談課長より挨拶、引き続き、前回第1回委員会欠席の太田委員より自己紹介される。</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 第1回委員会における意見及び追加提出意見に対する回答又は対応について → 資料1</p> <p>(2) 「人権に関する市民意識調査」事務局案の修正案について → 資料2 事務局からの資料1の説明を省略し、資料2の修正・追加箇所の説明に対し、委員から次のとおり意見が述べられた。</p> <p>&lt;委員からの主な意見&gt;</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問7：人権問題での悩みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「かかわりを持っている」という表現に違和感あり。「かかわりを持っている」の設問と「かかわりがある」、「過去にあった」との回答選択項目の整合性が取れていない。</li> <li>・ 自分が当事者である場合と見聞きしたとか、そういった問題に接することがあったということを両論併記で問うことがもっとわかりやすいのではないか。</li> <li>・ 調査の目的として、世の中に人権侵害と思われるものが存在しているのか、どの程度存在しているのかを拾い上げることが目的だと思うので、かかわりまでの深さを求めないほうが、調査の趣旨に<u>かな</u>適うのではないか。</li> <li>・ 「悩んでいる、悩んでいる人を知っていますか」など、普通の言葉でよいのではないか。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問17：高齢者に対する人権侵害だと思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子・親族による年金・預金等の<u>差</u>取」の回答選択項目の追加について、個別具体的なものは選択肢になじまないとなっているが、事案として多くなっているものの一つであり、人権に関する問題な</li> </ul>	

議事内容

のだということを知ってもらうためには項目があったほうがよいのではないかと。

- ・ 他人からの行為は虐待と見なされがちだが、身内が何かすること、後見という名を盾にいろいろなことをやるということが実は虐待なので、はっきりと分かるような選択肢があってもいいのではないかと。

問19：障がい者に対する人権侵害だと思うこと

- ・ 設問括弧書きで三障がい（「身体・知的・精神」）が書いてあるが、なぜ入れたのか。今の障がいの範囲に慢性疾患とか認知症とか難病とか、全部、障害者権利条約に基づく障がい者の概念、ディスアビリティ（障がい）の概念に入っていく。発達障がいについても、研究が進めば進むほど、その範囲もどんどん広がっていく。そういったことを考えたときに、身体・知的・精神という三つを並べておくだけでは済まなくなっているため削ったほうがよいのではないかと。
- ・ 一般の人は、どこまで身体・知的・精神という三つを並べておくだけでは済まなくなっていることを共有しているかは分からないと思う。「障がい」というと身体的な障がいをイメージする人が多いと思うが、心のほうの障がいというのが非常にクローズアップされていて重要で、いろいろなパターンがあり、非常に身近なものだということを知らしめる意味があるのではないかと。

問27：同和問題で人権上問題だと思うこと

- ・ 回答選択項目1「結婚問題で周囲に反対すること」書いてあるが、これも結婚や出産、妊娠に関して、問19回答選択項目11と同じ表現のほうがよろしいのではないかと。二人が結婚してから妊娠、出産という順序が一般的かもしれないが、妊娠をきっかけにぜひ結婚したいという方たちが今多いので、それが同和問題とリンクするケースを考えると、他と平仄を合わせたほうがよいと思う。
- ・ 結婚は戸籍をどうするかが問われる課題。妊娠・出産のことになると当人同士の思いだとかが出てくるのではないかと。部落（同和）問題で象徴的なのは、戸籍の問題をどう理解するかということが非常に重要なことなので、このままでよい。
- ・ 妊娠が先というおめでた婚のケースは多くあるし、妊娠自体は反対されないことはあり得るのか。
- ・ 妊娠に関して加えることで回答選択項目の趣旨が全く損なわれてしまうのであれば慎重にならなくてはいけないと思うが、触れることによって趣旨は損なわれないと思うし、かえって気づいていない事象も拾い上げることができるのであれば、それは拾い上げるべき。
- ・ 新潟市が出すアンケート調査の依頼なので、文言は合わせるべき。
- ・ 部落差別（同和）の問題は結婚に至るまでが大変。戸籍でこの人と結婚すると家も同様に見られるという差別は、部落の場合は非常に強い。問題は家と家との結びつきである。「結婚問題で周囲が反対すること」でアンケートをお願いしたい。

問4 1：北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関する問題

- ・ この設問は入れるべきではない。この調査は、意識調査であって宣伝活動ではないので、思惑を含んだアンケートの形をとった刷り込みをするような設問は設けるべきではない。この設問だけはこの被害があるのをご存知ですかと聞いており、他の設問とバランスが悪く、そこから違和感が発生している。回答選択項目の活動についての認識度を問うことは運動の進展の認識に関する意識調査で行うべきこと。この設問なり選択肢は乱暴すぎる。
- ・ 設問を外すことに賛成。この設問は、人権の問題をやりながら政治的な意図、他人に対する悪意をむしろ増長させるというのは人権調査にとっていかがなものか。在日の人はどのように感じるのだろうかの問題を含めアンケートすべき。
- ・ 可能であれば削除していただきたい。北朝鮮が拉致を認めた以上、拉致被害者の人権をどう守るかという観点でアプローチすべきもの。人権教育・啓発推進計画の中に入れなければならない、そこで議論すればよい。政治的な意図を極めて感じる。
- ・ 人権問題で新潟市特有の問題となると、新潟水俣病をめぐる人権問題とこの拉致被害者の問題が当たると思うが、新潟水俣病の設問に合せる記述にすれば違和感もないのではないか。
- ・ 「国家による重大な人権侵害の問題です。」と記載され、逆の立場からすると在日同胞の皆さんにとって納税など義務を果たしているが権利が発生していない面があり、重大な人権侵害を受けているととらえられる可能性もあり、設問として不適切ではないか。
- ・ 事務局の説明や他の関係市も設問として行なっているのであれば、率直にこのような聞き方でもよいのではないか。
- ・ 人権問題だということを知っているかの意識を確認するくらいで入れるなら残してもよいのではないか。

※（事務局より）前回、第1回委員会と今回、第2回委員会の委員意見を踏まえ、調査票の最終案を作成する。最終案については、委員及び市の関係課から最終確認していただく。

4. その他

事務局より今後のスケジュール予定を次のとおり説明する。

- 10月中旬 調査票の調査対象者への発送
- 11月上旬 調査対象者による調査票の投函
- H31. 1月 調査報告書の完成
- H31. 2月 第3回委員会